

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年7月30日

【2018年7月21日～2018年7月27日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。首脳会談が行われた米国とEU(欧州連合)の間で貿易摩擦の緩和が期待されたことなどから、市場のリスク選好姿勢が強まりました。

大統領選挙に関しては、候補者の登録期限が近づく中で各政党・候補者の動向に注目が集まっています。中道派グループは前サンパウロ州知事であるアルキミン氏を支持することを表明しました。これによりテレビでの政見放送の割当が増え、同氏の支持が拡大することが期待されます。同氏はマーケットでの支持が厚く、アルキミン氏が躍進すればブラジル・レアルの上昇につながるとみられます。

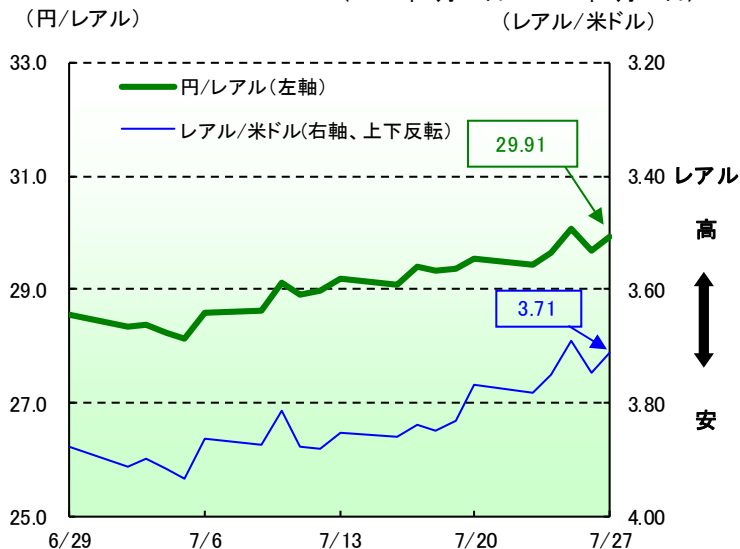
### 【2】今週の見通し

今週は、8月1日(現地)にCOPOM(金融政策委員会)が開催される予定です。COPOMでは政策金利の据え置きが大方の予想となっています。そのほかにも、鉱工業生産や失業率といった経済指標が発表される予定となっています。

大統領選挙に関しては、世論調査が2件公表される予定です。これまでの調査では、ルラ元大統領が不出馬との前提ではボウソナロ氏が優勢となっていました。中道派政党の協力を得たアルキミン氏やその他の候補者が巻き返せるかが焦点となりそうです。また、各大統領候補者が誰を副大統領候補者に選出するかも市場での注目材料となっています。現時点ではどの大統領候補者も副大統領候補者を決めておらず、今後の動向が注目されます。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

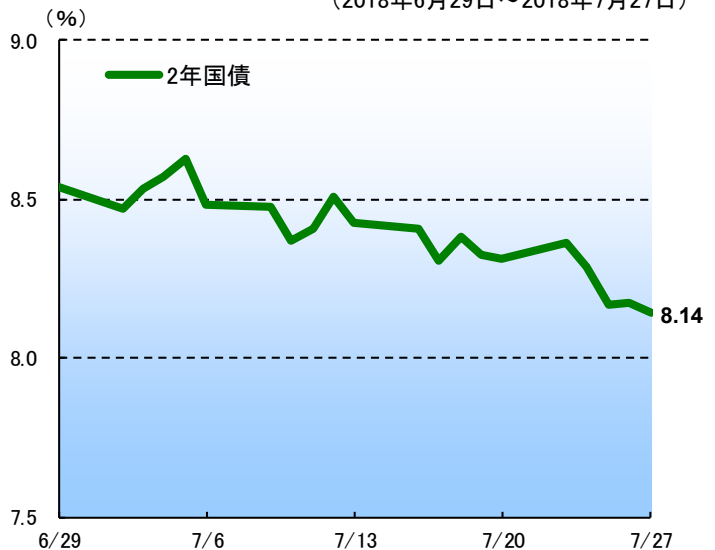
(2018年6月29日～2018年7月27日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年6月29日～2018年7月27日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>